

Ruby の開発を 支えるエコシステム

Hiroshi SHIBATA

2022/11/09 RubyWorld Conference 2022

Hiroshi SHIBATA

Twitter/GitHub @hsbt

Ruby Core team

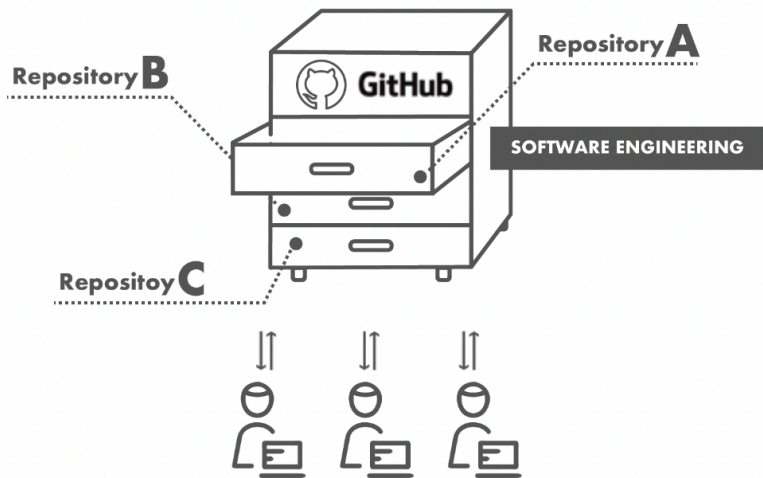
ANDPAD Fellow


<https://hsbt.org>

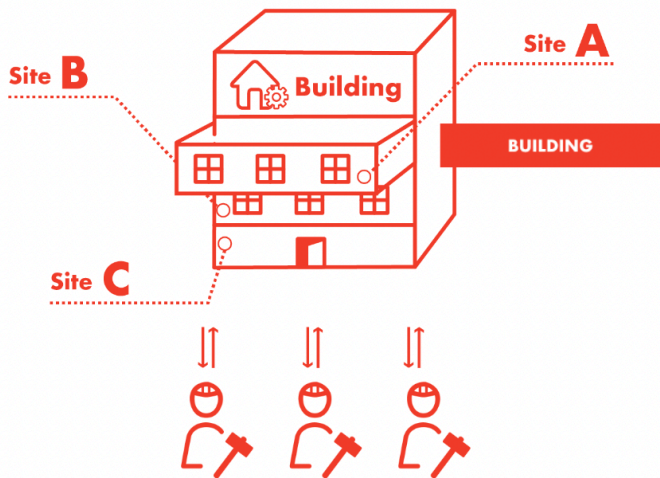



■ 実現したい世界観

いい仕事をする建築職人やチームが、いい処遇や機会を得られる社会を作る



 **GitHub** 開発者のためのプラットフォーム



 **ANDPAD** 建築職人のためのプラットフォーム

Ruby のエコシステム

“Rubyが、多様な現実世界にどのように適合し浸透していくのか、そのような普及過程と成長を考える機会となることを期待すると共に、Rubyのさらなる普及・発展とビジネス利用の促進を目指します。先進的な利用事例や最新の技術動向、開発者教育の状況などの情報を発信することで、「Rubyのエコシステム(生態系)」を知っていただくことができる場として開催します。”

<https://2022.rubyworld-conf.org/ja/about/>

Ruby をやると
生徒が集まる...



Ruby をやると
キャリアが安心...



Ruby をやると
採用できる...



Ruby をやると
儲かるらしい...

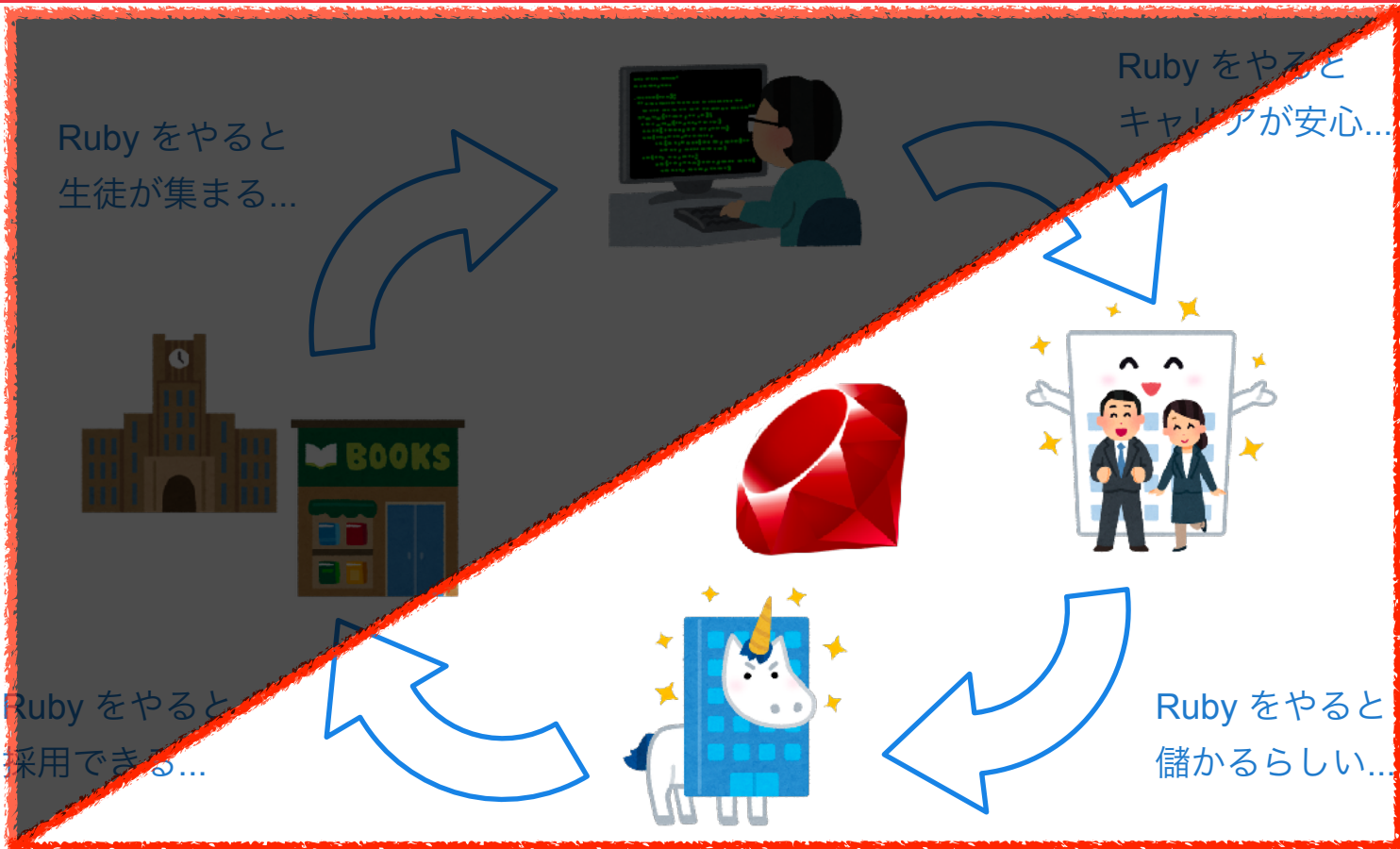
“コミュニティとは誰か。もちろん、あなたのことだ。あなたがコミュニティであり、それ以外にコミュニティはいない。あなたのような人々の集まりを、コミュニティと呼ぶのだ。”

<https://magazine.rubyist.net/articles/0028/0028-ForeWord.html>



“**エコシステム**とは誰か。もちろん、あなたのことだ。あなたが**エコシステム**であり、それ以外に**エコシステム**はいない。あなたのような人々の集まりを、**エコシステム**と呼ぶのだ。”

Ruby と企業



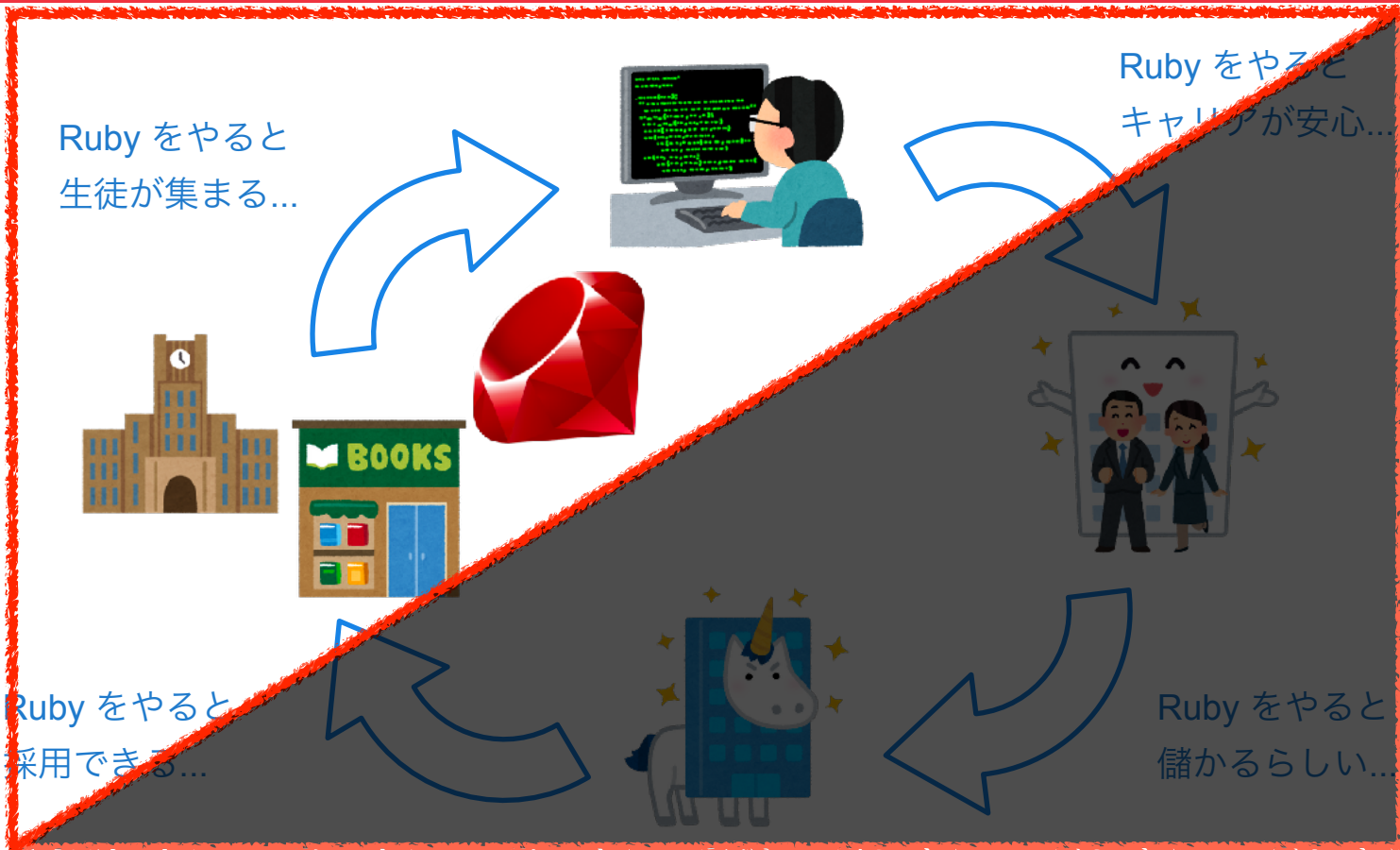
- OSS である Ruby が事業で利益を産んでいるのは本当に謎
 - 会ったこともないエンジニアが作ったソフトウェアが自分のサービスで動いている
 - 何か不具合があった時に報告したら直してくれる(時がある)
 - OSS として公開したものに誰かが勝手に不具合修正や機能追加をしてくれる(時がある)

- Ruby を使う
 - 事業に Ruby を使う
 - 事業以外でもRubyを使う
- Rubyist を雇う
 - Ruby を使う人を雇う
 - Ruby を作る人を雇う
- Ruby のイベントに関わる
 - スポンサーする
 - 場所を提供する
 - イベント参加の支援をする
- Ruby 関連の表彰に参加する
 - Ruby Biz Grand prix
 - FUKUOKA Ruby Award

- Ruby を使おうとした時に障害があったら声を上げる
 - IaaS で提供されている Ruby が古い時はサポートに連絡する
 - ライブラリがない時は自作したり、ほしいものを Ruby 開発者に伝える
- カンファレンスやミートアップに関わる
 - RubyKaigi
 - Kaigi on Rails
 - 地域 Ruby 会議
 - RubyWorld Conference
 - RubyConf
 - 地域ミートアップ
 - RailsGirls



Ruby とコミュニティ



- 誰もがコミュニティに育ててもらい、育てている
 - Ruby は知らない人が開発しているわけではない
 - Ruby を良くしようと知ってる人たちが議論をして不具合があればなおしている
 - それぞれの所属元が解決した課題や知見を知ってる人が積極的に公開して共有している



- GitHub/[bugs.ruby-lang.org](https://github.com/bugs.ruby-lang.org) (Redmine)
- メール
- オフィスアワー/開発者会議
- Slack (ruby-jp 等) や Discord
- イベント(オンライン/オフライン)
- SNS(Twitter 等)



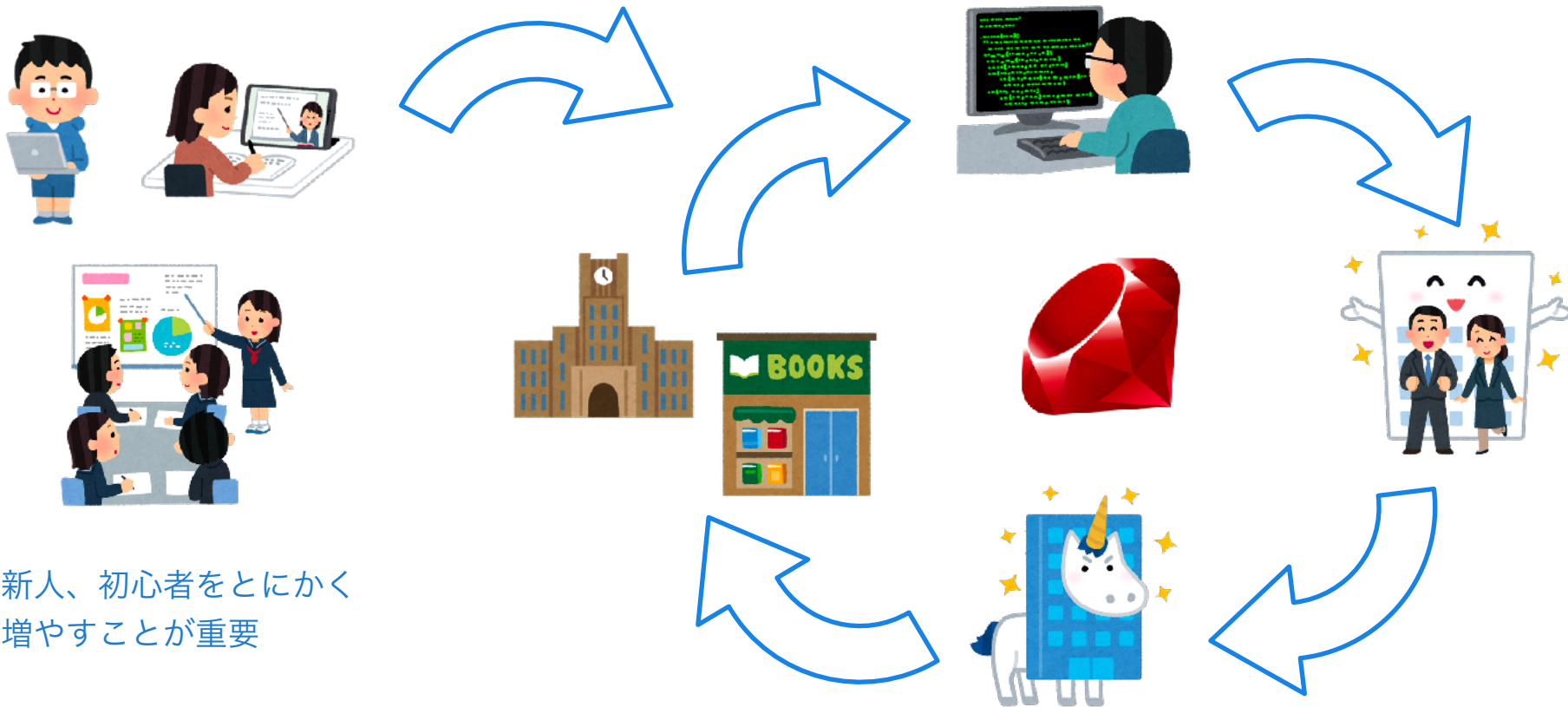
どの手段であっても日本語が通じるし Matz が出てくるのは Ruby だけ。これはすごいこと。

- Ruby で気になったことは <https://bugs.ruby-lang.org/> や GitHub の各種リポジトリで報告
- プログラミングスクールで学んだカリキュラムや成果物の発信
- 企業での研修内容の公開、テックブログの発信
- ブログでの技術情報発信
- イベントへの参加、参加報告
- **書籍の執筆**
- **動画の作成と公開**



この二つが最近では急務なので
頑張りたい

Ruby に今足りてないもの
は型や速度よりも初心者



新人、初心者をとにかく
増やすことが重要

"いろいろと足りていませんが、過去
去廃れていったプログラミング言語
のいろいろに思いを馳せると、
廃れていくプログラミング言語で
まず不足するのは初心者、という
印象があります。"

Rubyにとって決定的に足りないものは何だと思いますか？

回答する フォロー 3 回答依頼

関連するすべて (31件) 並び替え おすすめ

 **Urabe Shyouhei** フォロー
Money Forward, Inc.のRuby committer (2016–現在) · 3年前

いろいろと足りていませんが、過去廃れていったプログラミング言語のいろいろに思いを馳せると、廃れていくプログラミング言語でまず不足するのは初心者、という印象があります。つまり人の流入がなくなっていくとプログラミング言語は頓挫になりやすそうな気がする。

いま、たとえば、RubyKaigiというカンファレンスを行うと、各国から参加者があってありがたい反面、ロシア以外のCIS諸国やブラジル以外のラテンアメリカ諸国、それとアフリカ諸国などからの参加者は残念ながらほとんどいません。それは地理的に遠いからとか、日本に人国するビザが難しくとか、色々理由はあるかとは思いますが。でも単にリーチしてないんじゃないかという思いもある。

べつに地理的な問題だけでもないと思っていて、いまRubyをとりまくデモグラフィックはまだそれ以外の一般的な人口分布とは異なると思います。さまざまな箇所で見逃されがちなことを排除していることがある結果ではないでしょうか。

流入を増やすと参加者の質が変わっていくという面はあるかだと思います。でもそれは自然なこと、参加者固定のままゆるやかに衰退していくよりはずっといい。これからのことを考えるとRubyに足りないのは、初心者だと思います。

閲覧数:2.1万回 · 154件の高評価を見る ·
Kann EjimaさんとYoh Osakiさんが回答をリクエストしました

154 2

<https://jp.quora.com/>

[Ruby%E3%81%AB%E3%81%A8%E3%81%A3%E3%81%A6%E6%B1%BA%E5%AE%9A%E7%9A%84%E3%81%AB%E8%B6%B3%E3%82%8A%E3%81%AA%E3%81%84%E3%82%82%E3%81%AE%E3%81%AF%E4%BD%95%E3%81%A0%E3%81%A8%E6%80%9D%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%81%8B](https://jp.quora.com/Ruby%E3%81%AB%E3%81%A8%E3%81%A3%E3%81%A6%E6%B1%BA%E5%AE%9A%E7%9A%84%E3%81%AB%E8%B6%B3%E3%82%8A%E3%81%AA%E3%81%84%E3%82%82%E3%81%AE%E3%81%AF%E4%BD%95%E3%81%A0%E3%81%A8%E6%80%9D%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%81%8B)

- 生態系の中が固定して停滞すると廃れる
 - 誰もが最初は新人からスタート
- 新人や企業をエコシステムの中で成長させることが重要
 - “このカンファレンスに行ってみるといいよ”
 - “その不具合を直した人はあそこにいるから話してきなよ”
 - “ほら Matz いるから挨拶してきなよ”

- ・ hsbt の仕事として初心者が Ruby を使いたい時に使いたいように使えるように頑張ります
- ・ 初学者でも関係なくどんどんブログなどを書いてほしい。
- ・ 特に最近は書籍が減ってしまって悲しいのでどんどん書いてほしい。企画を一緒に出しましょう。

ソフトウェアは何もしないと壊れる

GMO AITE

- ・ 「何もしてないのに壊れた...」
 - ・ ソフトウェアを動かす環境は絶えず変化している
 - ・ OS、ミドルウェア、ハードウェア
 - ・ 脆弱性、サポートコストなど環境の変化からは逃れられない
- ・ 現代のソフトウェアは複雑怪奇な組み合わせの中でなんとか動いている
 - ・ 「何もしていないから壊れる」「それはそう」

まとめ

- Ruby のエコシステムについて企業と個人それぞれでできることを俯瞰しました
- 誰かがやってくれるだろう、ではなく、それぞれができることを始めて Ruby のエコシステムを良くしていきましょう

Social Change starts with YOU

- できるからやるのではない
- やるからできるようになる
- 自分が書けるようにならないければ、誰も書けるようにはならない

<https://speakerdeck.com/twada/strategy-and-tactics-of-building-automated-testing-culture-into-organization-2020-autumn-edition?slide=71>